

吊り下げ用ラバーステー、ボルト、ナットは純正品を再使用してください。

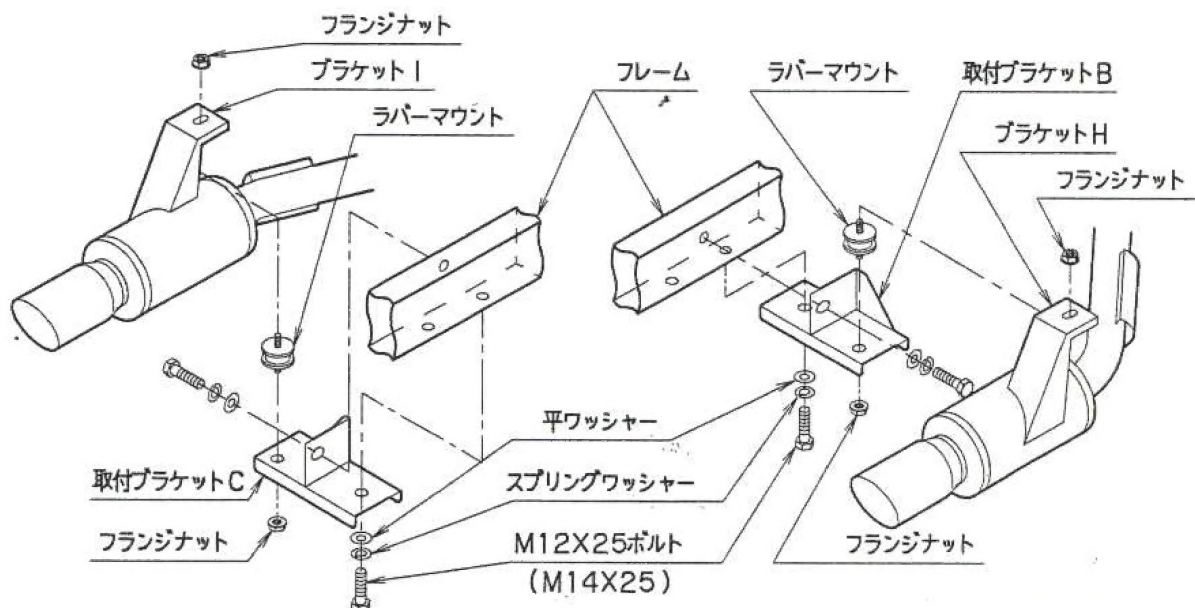
## 組付作業手順



作業中のケガ・ヤケド

※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

- ③ ※リヤマフラー取り付けの際、年式によりボルトサイズが異なります  
「リヤマフラーの仮組付け（左右）」
- ・車両右後方下のフレームに取付ブラケットBを取り付けます。  
フレーム底面の後方から2番目のボルト穴に取付ブラケットの穴を合わせて、M12×25（M14×25）ボルトにスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に通し、下側、及び右側から仮締付けしてください。
  - ・リヤマフラー（右）の後部の取付ブラケットHと取付ブラケットの間に付属のラバーマウントを挿んで上下から付属のフランジナットで仮締付けしておいてください。
  - ・センターマフラーの後部フランジ（右）とリヤマフラー前部のフランジとの間にガスケットBを挿んで、M8×30ボルトを通して反対側からスプリングワッシャー、ナットで仮締付けしてください。
  - ・車両左後方下のフレームに取付ブラケットCを取り付けます。  
フレーム底面の後方から2番目のボルト穴に取付ブラケットの穴を合わせて、M12×25（M14×25）ボルトにスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に通し、下側、及び左側から仮締付けしてください。
  - ・リヤマフラー（左）の後部の取付ブラケットIと取付ブラケットの間に付属のラバーマウントを挿んで上下から付属のフランジナットで仮締付けしておいてください。
  - ・センターマフラーの後部フランジ（左）とリヤマフラー前部のフランジとの間にガスケットBを挿んで、M8×30ボルトを通して反対側からスプリングワッシャー、ナットで仮締付けしてください。
- ※テールパイプがオーバルタイプのマフラーは、牽引フックに干渉する可能性がありますのでご注意ください。





## 組付作業手順



作業中のケガ・ヤケド

\*文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

### ④ 「全体の本組付」

- ・フロントパイプ、センターマフラー及びリヤマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバー、シャーシ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガasketのずれを確認しながら、仮締付けしてあったボルトとナットを自動車の前側から順に下記の指定トルクで締付けてください。

締付けトルク	M8	24.5~34.3N・m(2.5~3.5Kgf/m)
	M10	39.2~49.0N・m(4.0~5.0Kgf/m)
	M12	58.8~78.4N・m(6.0~8.0Kgf/m)
	M14	78.4~98.0N・m(8.0~10.0Kgf/m)

- ・テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があったら最初から締めなおしてください。
- ・クリアランス不足を放置すると異常な音がでたり、樹脂バンパーの場合、熱で溶けることがあります。

### ⑤ 「装着状態の確認」

- ・全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すぶって各部のクリアランスを確認してください。
- ・エンジンを始動して暖機運転し、約2,500回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
- ・試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
- ・以上の項目に異常があったら、面倒でも最初から装着をやり直してください。

以上で弊社マフラーの装着が完了しました。もう一度 本取扱説明書をよく読んで、安全で快適なドライブをお楽しみください。

◇製造・発売元

株式会社 マツショウ

◇所在地

〒340-0002

埼玉県草加市青柳8丁目64番地2号

TEL 048(935)3637 FAX 048(931)2242

◇取扱説明書 番号

GD-079

◇初版作成年月日

2004.05.09